



巻頭文

相談役 小野恵子



私が NJCA の月例理事会に国語教室代表として参加するようになってから 15 年近くたつ。しかし極々一部の人以外は、理事の私生活などほとんど知らない。

それがまた NJCA の良いところであると信じる。理事会での意見交換などには時には熱が入って一つの議題にたくさん時間を費やしたりすることも多々あるけれど、それは個人の利益などを考えてのことではない。日系社会が我々の参加によっていかに住み良くなって

いくかという大きな面での討議である。そして理事会で決定した行事などには、全員全力で協力し合う。ここでは、個人が NJCA 以外で何をしようとか関係ない。もちろん NJCA メンバーにはいろんなタレントを持っている人がたくさんいるので(いまだに全部は発掘できていないと思う。)その人たちの得意な分野で NJCA を支えてもらっている。

私自身もコンピュータを使ってデザインなどを頼まれたりするけれど、いわゆるデザインは本職ではない。芸術的才能などちょっともないのだから。なにをしているかと言えばオンタリオ政府でコンピューター関係の仕事をしている。

私が仕事でつかっているコンピューターは巨大な記憶装置とネットワーク、アクセススピード、堅固なセキュリティに守られた IBM である。このコンピューターを操作するには特別な言語が必要である。あまり巨大すぎて操作が面倒なこともあり徐々に一般の目には触れなくなっている。ここ 20 年のあいだに PC が各家庭に 1~2 台はあるようになると、コンピューターというこの家庭用のコンピュータしか想像できない人がほとんどかと思う。

さて実際の仕事はこのコンピューターを使って、政府関係の書類をデザインすることである。この「にゅうすれたあ」を読んでいる人に

はお目にかかっていないかも知れないが、州の生活保護への支払い小切手および明細書、違反の点数が 10 点になると受け取る Ministry of Transportation からの手紙、デッドビートと呼ばれる離婚・セパレートして子供にお金を払わない人に送る手紙など私の手がかかっている。ただの手紙なら簡単に普通のコンピュータでできるのだけれど、これに必要な情報(受け取る本人の名前、住所、運転免許の番号、違反の羅列など)を巨大なデータベースから拾い出してしかるべきところに印刷し、住所は特にこちらでデザインした封筒の窓から見えるところに来るように位置を考える。人によっては 2 枚 3 枚もの手紙が一つの封筒に入ることもある。お客(すべて政府内部)はデザインするのに大体十分な時間をくれるけれどそうでない場合もたくさんあって、仕上げるためには、徹夜もよくさせられる。予定日より何日か早く仕上げると徹夜したことなど全然苦にはならない。この辺で「やっぱり日本人だな～」とため息をつくことになる。

この完成した仕事がお客から、承認を得ると次の段階は印刷、封筒詰めになる。

印刷機はこれまた IBM。紙は直径 2m ほどある巻紙、そこから引き出した紙が印刷機を通り抜けて印刷されたあと適切なサイズに切断されてでてくるのを、千枚づつまとめて挿入コンベアに置くと、まず手紙を 3 つに折りたたむ、そのあと封筒が口をあけて待っているところに進み封筒に飲み込まれた後は、のり付けでコンベアの仕事は終わり。そのあとは人間が郵便局提供の箱に詰め込む。次の日郵便局が引き取りにきて我々の仕事は終わり・・・と一口で書いてしまったけど、生活保護の小切手などは、300,000 人も発行するわけだから、四六時中働いて、4 日間かかる。受領者の中には受け取る額が 1ヶ月 3,000 ドルなんていうのをみると、一体我々何をやってんだらう何て考えてしまう。何ヶ月か前歯医者に行った時他の患者が生活保護小切手で支払いしているのを見て、ちょっと感激、思わず使っていたいてありがとうと言いたくなってしまった。

とこんな具合に毎日、毎年仕事してもう 30 年。数年まえに定年制度がなくなったので、あと 10 年働こうかどうしようかと思案中。

カナダの春は一瞬ですね

森貞一弘



北国の冬は長くて、春の訪れが待ちきれなくて、あのム～とするような雨の臭いが恋しくて、5月には帰国するんですけどね、今年は例の豚インフルエンザへの日本国内感染の予防とかでね…万が一、運悪く、同じ飛行機に乗っていた人が、熱でも出してしまったら、空港近くのホテルで 10 日間、過ごさないといけないって…やっぱり、休暇は、のんびりと温泉にでも浸かっている方がいいしね…

カナダって、突然、花が咲く不思議な国なんですけど…ありふれているけれど、気分だけでも盛り上がりたうということで、行ってきまして、トロントでは有名な「ハイパークでお花見」

「外国に来てまで何やってんの?」って突っ込まれそうだけど、これってね、いざ、しょうもない見栄とか誇りみたいなものを捨てて、純粋な気持ちで、行ってみると、あら不思議…やっぱり、サクラの花って、素敵ですよ。心が和むっていうのか…日本人の DNA に共感するんでしょうか、それとも、本来持っている繊細な感覚が、呼び戻されるのでしょうか…

サクラの木の下で、ゴザをして、おにぎりなど食べながら、見事に咲いた桜を、ただ眺めるだけの単純な行事なんですけどね、瞑想にふけるっていうのか、ワビサビを感じるっていうのか…(って言い過ぎか?)

どうやらお花見っていうのは日系人だけでなく殆どのアジアの国では、あるらしくって、賑やかですね。

ハイパークの桜は、ちょっと高年齢でそろそろ植え替えが必要かな?と思うのですが…実は、穴場があるんですよ。ミシサウガ市庁のすぐ側にある刈谷パーク(写真は垂れ桜)、姉妹都市ということで、かなり素敵な庭園で絵になるデートコースです。ハイパークよりちょっと遅咲きです。

皆さんも来年は、勇気を出して、ゴザとお弁当を持って「お花見」に行ってみましょう。きっと、何かを感じることができると思いますよ。



“たそがれ”という言葉はひびきもいいし、イメージもあの“夕焼け小焼けで日が暮れて”の童謡ではないが、心が安らぐような、あるいはなごむような雰囲気を持つ。映画“たそがれ清兵衛”を観て以来、この言葉がますます好きになった。

もっとも“たそがれ時”を同じ意味の“夕暮れ時”或いは“日暮れ時”に置き換えるとイメージはかなり変わってくる。日没とともに一日の終わりが始まり、すなわちやがて終焉を迎えるのだ。終焉?なにか暗く寂しい。

ちょっと待って下さい。私は“たそがれ時”をもって、本当の意味の人間生活が始まるように思っている。夕焼けは美しい。日没の空が茜色に染まる風景は個人的に最も好きな景色の一つだ。それを機に、一日の仕事を終えた人々、学業に精を出した子供たちが家に帰ってくる。一日で一番豪華な食事、夕餉を囲んで一家団欒が始まる。食後はそれぞれ最もしたかったこと、最も楽しいことに時を費やす。夫婦の仲の喜びだ...。“たそがれ時”以後にこそ、生きている意義の比重は大きい。

導入部が長くなったが、実は一日の“たそがれ時”をそのまま人生に当てはめて考えてみたかったのだ。辞書によれば、“たそがれ時”は人生の盛りを過ぎた時期にも当てはまる。われわれ新移住者と呼ばれる日系人のグループも、その多くが今や“たそがれ時”を迎え、或いは迎ようとしている。また、かなりの新移住者がその父母を、共に住むべくカナダに呼び寄せているから、シニアといわれる新移住者は増え続けることだろう。私もその中の一人だが、人生の“たそがれ時”を迎えた人たちに言いたい。一日の最も有意義な時間は夕暮れの後にあるごとく、われわれの“真の人生はこれから”だ。

ところで、“必要は発明の母”と言われるが、新移住者もその必要に応じていろいろな団体、施設、機関を創ってきた。まず、日系少年・少女の日本語・日本文化教育のためのいわゆる日本語学校が出来た。今は数校ある。幼児を問わず、教育もしてくれる立派な託児所もある。紅白歌合戦(その他の芸能活動)も有難い。新移住者協会に加盟する団体の全てがそのような需要或いは要求を満たすために生まれたと言える。そのほかにも、日系新聞、商店なども同等の貢献をしていると思う。

しかし、一つ重要な機関が未発達だ。英語を母国語(或いは同等に解する)たそがれ期の人々の為には、知的な学びを続ける機会、機関がいくらでもある。例えばトロント大でも、シニアも資格を問わず自由に入学できる成人学校を付設している。かなり高度の授業が各人の知的興味に応じて行われているのだ。(日本でももちろんそのような機会は至る所に存在する。)日系たそがれ族も立派に仕事を終えてきた。同等の報いを受けて当然だと思う。幼児、少年少女の教育の為の機関があるのと同様に、日系社会の重要な一部を構成する“たそがれ人”の為の教養講座(趣味のクラスとは異なる)があるべきだと常々考えてきた。生まれてからこの方、ずいぶんいろいろな方のお世話になってきた。だが、それらの方々の多くに、ご恩返しをしないまま、先立たれてしまった。そこで、そのつぐないに何か他の人のために出来ないものか考えた結果、日系たそがれ族の集う塾を開いたらと思うに至った。私が学んできた歴史(主として日本史)を主題に、あわせて世界観・人生観(おかげさだが、いかに生きるか)などを共に考えてみたらと思っている。祖国を離れて初めて日本のごとく(歴史)をもっと知りたと思うようになりましては多くの人から聞くことだが、その欲求もつたないながら満たしてあげられたらと思う。この秋に開塾出来たらと計画している。

そんな塾を開きたいと言うあなたの資格は?と問われたら、あまり肩書きとか資格とかにこだわることを好まないのだが、一応、博士号



7月に天皇・皇后両陛下のカナダご訪問が決定された時、2004年4月25日に開催された「第55回全国植樹祭」にトロント宮崎県人会として招待を受け参列した事が思い出された。その時、トロント宮崎県人会会報に掲載した記事を紐解いてみた。

「第55回全国植樹祭」



青い空、青い海、豊かな緑に包まれた宮崎は「第55回全国植樹祭」を前に活気づいていた。宮崎で開催される植樹祭は昭和48年(1973年)以来の31年振りという。

その31年前に、小林市で開催されたその日を昨日の事のように覚えている。私は、その時、植樹祭に参加される方々をバスでご案内していた。まさか、その時31年後のこの日に、植樹祭に招待されるとは夢にも思わなかった。

晴天に恵まれた4月25日、「空と海 ところをつなぐ森づくり」をテーマに約1万人が参加して、特別史跡公園西都原古墳群で天皇・皇后両陛下をお迎えして「第55回全国植樹祭」が開催された。



1年中、コスモスや菜の花が咲き乱れるお花畑が見事に整地され会場となっていた。式典も素晴らしかったが、それが終わりエピソードでの民謡独唱「刈干切唄」は、会場を取り巻く山々には響き渡り神秘的な感動を覚えた。山々は、青空の下にパッチワークの模様のような春の色を醸し出していた。それはまさに故郷を持つ幸せを感じた一瞬だった。

そして、この植樹祭で天皇・皇后両陛下にご拝謁できた事は感動的な事だった。1953年、皇太子殿下として初めての外国訪問先にカナダを選ばれ、その時、バンクーバーから列車で大陸横断の旅をされた時の思い出をお話していただいた。私はそのお話やその手のぬくもりを一生忘れることができないうらやまを感じると思う。

そして、その時「ぜひもう一度カナダにお越しくださいませ。」と、ご拝謁できた感謝の言葉に添えた一言が思い出された。

をもって、大学で二十数年歴史を教えてきた経歴があると答えよう。大学院の教え子からは、何人かの博士も育てた。“たそがれ塾”から博士に匹敵するような塾生も出る、そんなことも夢見ている。実際には、老幼男女を問わず、私の話に興味のある方、昼間のクラスに出席可能な方ならどなたでも歓迎したい。江戸時代にあったような塾を想定しているが、どうゆう塾に育っていくかは、塾生になって下さる方々と共に決めていきたいと思っている。

興味またはご意見のある方はお手数ながら下記のアドレスまでお知らせ下されば有難く思います。



Shuzo Uyenaka
39 Macklingate Crt.,
Scarborough, ON M1V 1E6
✉ s.uyenaka@sympatico.ca

移民は祖国応援団

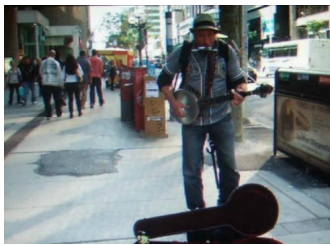
丸木英郎

カナダには世界各国からの移民が、今も続々移住してきます。それでも、移民はそれぞれの祖国応援団です。だいたい前の連邦議会での代表質問で、野党党首の質問に首相が「それではカナダよりいい国があるのですか?」と逆襲すると質問者が絶句し黙ってしまいました。カナダは理想国家です。僕はブラジル移民のなれの果て、カナダには1972年に移住しました。それ以来、転勤や転職で日本やアメリカの主要都市に勤務しましたが、通算6度もカナダのトロントに舞い戻っております。僕達日系移民は日本応援団です。

以前は、票にもならない僕達移民でしたが、在外選挙実施以来は、祖国の政局に影響力があるので、国会議員の在外日本人を見る眼の色が変わってきました。

来るべき総選挙後に初入閣を目指す僕の後援してる代議士も、福田さんが政権を投げ出した頃から、猛烈な選挙運動を地下に潜って続行していたので、既に勝敗の結果は見当がついたようです。選挙戦の火蓋が切られれば、僕も手弁当で太平洋を一跳び遊説の同伴をするつもりです。彼のご尊父の生前には殊の他お世話になったので、ご子息には天下を取らせてあげたいのが僕の夢であり目標でもあります。

もう一つの目標は、来年スウェーデンで開催されるマスターズ水泳世界選手権大会で世界新記録を樹立し優勝し金メダルの受賞ですが、カナダ選手ですから、その際の荣誉国歌は君が代ではなくオー・カナダです。



カナダではトロントとバンクーバーに猛虎会があり、阪神タイガースを熱狂的に応援するトラキチが居ます。トロント・ミッドタウンの風物詩として、夏になるとベイとブローアの角に現れるデトロイトから来るジョー・オキーフ君も、その一人、日本に住んだことがあり、日本が大好きなアメリカ人。阪神タイガースのユニフォームを着て、ドラムを背中に首にはハーモニカ、バンジョー弾きながら「六甲おろし」を正確な日本語で唄う愉快なおじさんです。

トロントには歌声喫茶の会があり、来年には十周年を迎えます。一昨年には新宿の歌声喫茶「ともしび」の常連が店長の寺谷宏さんに引率されトロントにやってこられ、日加交歓歌声喫茶を日系文化会館とジェームス松本邸で開催しました。カナダ側から日本の歌声運動を応援すれば、日本側からカナダの歌声喫茶の会を支援してくださいました。ブラジルのサンパウロでは今年で十年になる「なつメロ合唱の集い」があります。世話人の五十嵐司さんが十周年記念に「ともしび」や僕達とも交歓会をやりたいと意欲を燃やしています。日加伯三カ国の歌声交歓が実現すれば、僕は世話人を引退したいと思えます。

元旦生まれの僕は年が明ければ75才、百年人生の第四楽章に入りますので晴耕雨読の生活に入るか、又は新たな何かに挑戦し様かと考えております。自叙伝の試みでも書き始めようかな・・・。

日本に行くとき気になるのは、なんとなく日本人が疲れているような感じがすることです。戦後復興期や高度成長の頃に見られた覇気が見あたらないのです。日本の主要都市よりもソウルや上海のほうが活気に満ち溢れています。政治が悪いとか世界不況のせいだとか言う人も居ますが、そう言う人が選んだのが政治家だし、そう言う人が好況を上海に持っていかれた元凶ではないでしょうか。

他力本願でなく、一人一人が自覚を持って事に当れば国力は充実すると思います。戦前戦後の日本がそうでした、ジャパン・アズ・ナンバーワンと持て囃された時代もあります。その原点に戻って、自己の立場を踏みしめ仕切り直せばリベンジ可能と信じます。トロント歌声喫茶の会では、今日も唄いました「・・・原爆あるもたたれず 闘志は火と燃え平和のために闘わん・・・」と心をこめて唄いました。祖国の思いを馳せる在外有権者が祖国繁栄を願っています。

元気出そうよ、日本!

末筆になりましたが僕達日本人が忘れてならないのは、終戦後の食糧難時代にカナダのメノナイトが玉蜀黍や大豆等を日本に送ってくださったことです。あの援助がなければ僕達は餓死し日本民族は滅びたかもしれません。北方四島を占領したまま未だに返還しないロシア人が、今の日本列島でウオッカを飲み「ボルガの舟歌」なんかを歌ってると想像するだけで旋律でなく、身に戦慄を覚えます。外国に住むと、祖国の無防備が良く解ります。望まれる日本の宰相像は、アラブの井戸堀する人でなく日本領土で日本人が拉致されない国防意識のある人物であることは云うまでもありません。

肺がん治療最前線

～早期診断・治療～ セミナー

堀 淳子



肺がんによる死亡者数は全がん死の中で最も多く、世界中で年間約130万人が死亡していると言われていています。肺がんは早い時期に発見し、治療を行わなければ満足のいく結果を得ることは難しいため、早期かつ確かな診断が最重要課題となっています。

今回は、安福和弘先生を講師にお招きして、肺ガンについてのセミナーをしていただきます。入場無料。

■ 講師：安福和弘 医師

トロントジェネラルホスピタル(TGH)の胸部外科科教授。千葉大学大学院医学研究院と米国インディアナ大学で博士号を取得。千葉大学呼吸器外科助教授を経て、現在はTGHの胸部外科医として肺がんの治療および肺移植に携わっている。

TGHは胸部外科のなかでも世界トップレベルの病院として知られており、安福医師は世界有数の胸部外科医としてTGHに招聘された。また、同医師は口から内視鏡を入れ、超音波を使用してがんの転移の有無を調べる診断手法を開発し、従来の全身麻酔下でのどに穴をあけて行う手術に比べて、患者の肉体的負担を大幅に軽減することに成功。肺がん治療における新しい診断法として注目を集めている。肺がんに対する低侵襲診断・治療を専門領域としている。

■ 日時：6月27日(土)2:00～4:00

■ 場所：日系文化会館

■ 問い合わせ・申込み

ジャパニーズ・ソーシャル・サービス(JSS)

6 Garamond Court, Don Mills, ON M3C 1Z5

☎ 416-385-9200 ✉ general@jss.ca

■ 主催：JSS

■ 共催：JCCC

■ メディア協賛：bits 日加タイムス e-nikka 日系ボイス



OPEN:10a.m.-TO 7p.m.(SUN:11a.m.-TO 6p.m.)CLOSED:TUESDAY
730 QUEEN ST. W. TORONTO M6J 1E8 TEL. 416.703.4550 FAX. 416.703.8593

JAPANESE FOODS & GIFT SHOP
SANKO
http://www.toronto-sanko.com

日本食料品
みそ・しょうゆ各種
新鮮野菜
冷凍魚各種
スキヤキ肉
数の子昆布
いくら・とびこ
塩鮭切身
冷凍えだ豆
和菓子各種
オーガニック緑茶

さくら米
炊飯器
和食うつわ多種
新刊雑誌・古本
MAXELL/バッテリー
ペンテルペン
テレホンカード
ビデオレンタル
元気の源 元気ドリンク
他たくさん!!

書籍は航空便で直輸入
定期購読受付中!

おにぎり
お弁当(週末)あります

活気のある人求む
土日働ける方募集中!

日本送りのギフトあります

小学校5年生の途中までを過ぎた大阪府泉南郡深日、多奈川での経験を僕の少年時代と題して書いて来た。今、IT時代に生きるトロントから多奈川付近の過去、現在を再度検索して当時は勿論この連載を書き始めた時でさえ多奈川や深日は自然には恵まれてはいるものの片田舎の町に過ぎない所だと思い込んでいたのが間違いだったと知った。



僕が神戸に引っ越すまで通った深日小学校の裏山に構えていた国玉神社は実は長い歴史を秘めており、昔は「九頭大明神」と称したそうで、創建年代は不詳ながら、称徳天皇紀伊行幸の際の行宮を定めたそうである。『続日本紀』巻第二十六の称徳天皇(高野天皇)の天平神護元年(765年)十月二十六日、紀伊国からの帰路に和泉国日根郡の深日行宮に到ったとの記録があるそうだ。この国玉神社には七十もの石籠が並び、その正面に本殿が鎮座している。この本殿は元は合祀した賀茂社のもので、深日は京都賀茂社の社領だったことから、賀茂社から遷されて祀られていたのだろうとのことだ。亦、大国主の尊を祭っているとのことから出雲大社ともゆかりがあるようで、日本の各地に残る民話の3分の2は出雲に由来があるとも言われるので、ある意味で日本文化を知るには出雲大社を知る必要があるのかも知れず、とても興味深い課題を僕に提供してくれそうだしと思い始めている。

大国主の尊や因幡の白兔にまつわる話は幼少の頃、母が読み聞かせてくれた事を覚えている。母方の家系は日清戦争に大将として出兵した曾祖父に始まり今次大戦でも母の兄弟、義兄が全て士官学校出の軍人であった事と、時代の趨勢とも相まって古事記、日本書紀を家庭内での教育題材として採り上げていたのかもしれないと思う。

とに角この神社が当時の僕に植え付けていた印象は小学校の窓の外に始まるどんぐりの木がうっそうと茂る山の中にあるから、秋の祭りには山車が勇壮に駆け下ると聞いて、後は頭の中で組み立てた想像に過ぎなかった。しかし神社への上り口、国玉神社を擁する山、山車の現在の様子を写した写真から事実、僕の想像を今回確認することが出来たと思う。

亦、以前僕が記憶をたどって鉛筆書きした深日小学校が今では写真の3階建ての鉄筋コンクリート製の立派な造りに変わりウェブサイトまで持っている学校紹介をしっかりとやっているのには驚かされた。

驚いたといえば、川崎造船所の後には新日本機工という特殊鑄造会社の大手が占め、其の西側の広大な地域には関西電力の多奈川火力発電所が建設されている。これらの大きな変革が小さな漁村にもたらした変化は人口の増大がもたらすあらゆる変化だったろうと容易に想像できる。通学路の一つ、国道の南側に広がっていた、昆虫、蛇やどじょうの住処だった水田地帯も完全に消滅して人間が住み付くようになっており、其の清潔感故に僕がこよなく愛したヤンマを始めここには写真で其のホンの1部を写真で紹介するトンボの仲間、シオカラトンボ、アキアカネ、ヤンマの雌、川トンボたちも完全に消滅したかも知れない。



Google Earth の地図を見ると僕が水泳を覚え、夏には毎日のように泳いで過ぎた泥池も何故か埋め立てられているし、ゴルフ場があちこちに建設されている。唯一つうれい事に一度だけ友人、滝川君の2番目のお兄さんに連れて

行ってもらった時、神秘的に静まり返っていて自然の偉大さみたいなものを感じた湖は未だ健在の様子で、この地域全体の重要な水源になっているのだと考えられる。

もう一つ、これはこれからの楽しみとして手をつけないでいる事だが、以前、上出小学校か上出校長か不明であるかのように書いた記憶があるが、深日小学校の来歴を調べると上出小学校は存在した事がないことが確かとなったので、僕が深日の小学校に転校した時に面接を受けた校長先生は上出校長に違いないと結論を下して調べてみた。すると深日小学校の近くに上出医院なる内科と外科を有する病院があ

るではないか。ないか。これは必ずや上出校長の子孫の経営になるものに違いないと考えている。

もう一つ縁の持つ不思議について書いてみたい。

まず登場いただくのは僕の大先輩というのも畏れ多い Markham に居られるN.睦氏である。この方はカナダ在住40年以上という我々新移住者の大先輩で、日本では勿論、カナダでも技術提携、企業誘致、等々大活躍されてきた金属工学の技術者である。中でも割合詳しく伺った為、僕の印象に残っているのが西武グループに働きかけてトロントに誘致し、交渉から建設、開業までのあらゆる部門を手がけたトロント・プリンスホテルも其のほんの一つに過ぎない。このN.氏が僕の先輩であって、トロントに居られることをカナダ移住が確定した僕ら夫婦に教え、N.氏にも連絡を入れていた方が野田工業の野田薫社長で、この方は記憶力抜群の温厚な、涙もろい、甘党で今で言う人材派遣を含めた工業関係のエージェントを業務としていた。ここから容易に推察できる通り、N.氏と野田氏は相互に尊敬しあう専門家として長年付き合ってきたようである。亦、野田氏は趣味として児童文学、音楽関係にも造詣が深かったようである。其の関係で妻、紗永子さんの父親、佃芳郎氏がNHK大阪ラジオ放送局で子供番組のプロデューサーを務めている時に番組作成に係わって以来、生涯の友人となったように聞いている。

さて、再びN.氏に話を戻すと、昨年、お会いした時に「にゆうすれたあ」を読んでいると伺い、しかも、N.氏も多奈川、深日に住んでいたことがあるし、父の長石義雄に多奈川の川崎造船時代に野田氏と共に会ったというのだ。従って直接野田氏から聞いたことはなかったが野田氏も父と面識があったことになる。川崎造船多奈川工場は僕が小学校5年生の頃生産活動を停止するのだが父は神戸工場生産開始と同時に一足先に神戸に赴任していたと思う。そして僕達4人、母、妹、弟と僕が神戸に引っ越すことになる。

こうして今次大戦用の潜水艦建造目的で神戸から大規模移転構築され、戦後は商船や客船の建造を続けていた川崎造船多奈川工場は完全に移転消滅することになる。

其の跡地に建造されたのがN.氏が大きく関わった特殊鑄造を手がける新日本工機であり、120万 kW の発電能力を有する関西電力の火力発電所である。N.氏によると川崎造船多奈川工場の跡地に建設された操業を1958年の秋に開始した新日本工機岬工場は幹部、技術者と熟練工は八幡製鉄や久保田鉄工から迎え、一般従業員は地元から募集したそうで2DKの社宅を日本住宅公団設計で造り、N.氏のご家族も同じ年の6月から1966年3月、カナダへ移住するまでを過ぎたそうである。

以上からお分りのように僕が佃紗永子さんを妻に迎えたことが縁となって野田氏、N.氏との縁を生み出し、これまで「にゆうすれたあ」で僕が書いてきた小学校5年生までを過ぎた多奈川という土地が縁結びとなって、父の長石義雄にも結び付けていたことを今回発見することになったという訳で縁の不思議さをこれほど感じたことはない。

これで小学5年生の僕はいよいよ大阪府泉南郡多奈川緑ヶ丘のヤンマや蛙の住む片田舎をおサバラして神戸に移り、いよいよ大都會の生活なるものに飛び込むことになる。



みついし商店・サンダウンマーケット

日本送り用ギフト 承っております **日本食品**

ビデオレンタル・雑貨

●スカーポロ店

日～水 10:00～18:00
木・金 10:00～19:00
土 9:00～18:00

4385 Sheppard Avenue E., Pearl Plaza内, Unit 15,
Scarborough, ON, M1S 1T9 (Brimley & Sheppard)
☎(416)496-9083/FAX(416)496-9084

サンダース
ベリー
自然化粧品
取扱店

●エトビコー店

日～水 10:00～18:00
木・金 10:00～19:00
土 9:00～18:00

826 Browns Line, Etobicoke Ontario M8W 3W9
(Evans Ave. & Browns Line)
☎(416)251-7900 / (416)259-8260



◆花はどこに◆



記憶にあるお寺の短い参道の門に着いた。龍雲寺。

ふむ、お墓に供える花がいるな。斜め前に何でも売っていきそうな古い店があった。ガラガラ、ご免ください。

お年寄りの客がひとり。多分店の人とすでに何時間も世間話をしていたに違いない。

店の人に訊いた。

「墓参りに来たんですけど、どこかこの辺で花を売っていませんか」「花屋なら、ここを真っ直ぐ行ってな、突き当たった右の角にあるよ」「どうも・・・」

お客さんが大きな声をあげた。「あんた、何言ってるの、あんたんとこでも花、売ってるでねーの」「ああ、そうだった・・・」

お祝い事があって、高校生の息子に何が食べたいか聞いてみました。リクエストはマカロニグラタンかしら、それとも散らし寿司かしら?とわたくし返事を待っていると、息子はなんと、「お母さんのオートミールが食べたい」と言い出したのです。なんでもよりによってオートミールなの?と思いつつオートミールを煮ている間、バナナを切って、いちごを洗って、りんごの皮を剥いて、と私の記憶は遠い日の懐かしい出来事を思い出していました。

あれは親子二人の生活が始まって間もない頃ですから、息子が5歳ぐらいの時だったのでしょうか。これから未だ夜も明けぬ薄暗い厳冬の中に息子を送り出すのに、冷たいシリアル朝ごはんでは余りにも忍びない、何か温かいものを食べさせたい、と会社の同僚に相談したら、「それならオートミールがいい」と教えてくれました。作り方を聞いて早速オーツを買ってきて作ったものの、息子は一口食べただけで嫌がって、それ以来2度とオートミールが食卓に上る事はありませんでした。

出来上がったオートミールにブラウンシュガーとクリームをたっぷりかけて、「うん、うまい」。「あの時はまずいって手をつけなかったのに」。あんなに小さかったのに、息子はあの時のオートミールの味をちゃんと覚えていたようです。カナダで生まれ育った息子にとってはオートミールなるものがおふくろの味になるのかなあ、なんてしみり複雑な心境で美味しそうに食べる息子の顔を眺めておりました。

私が思い浮かべるおふくろの味は、切干大根や、ひじき、おからの炒ったのやかぼちゃの煮物、きんぴらごぼうでしょうか。私の生家は父が三代目を継ぐ農家で、米と野菜を作るほか、酪農と養蜂も営んでいました。

月曜日に買い物籠一杯の卵が近くの農家から届き、豚肉 300 グラムは水曜日に農協から、とまるで配給制のように配達される食材と、家で取れる野菜を上手く使いまわして母は家族七人分の食事を作っていました。牛肉は決して食卓に上る事はありませんでした。

まだ食べ物豊かじゃなかった時代に米と野菜を自給して、十分に食事が出来る環境に生まれた私は非常に恵まれていた、と今は感謝出来るのですが、当時は毎回食卓に上る野菜料理にはうんざりで、牛乳も蜂蜜も、家で取れたものは全て嫌い、見るのも嫌でした。あの頃は既にカラーテレビも普及しておりましたので、テレビの画面に映し出される、我が家では絶対に食卓に上らないような料理の数々、スーパーやお店で「お金を出して」手に入れるご馳走にただただ焦がれていたような気がします。

料理上手な母に確立された味覚は家を出て 20 年経った今もしっかり根付いており、時々食べたくなって自分で作るのですが、その度に「こんなのおかずにならない」とひどく反抗した十代の自分が思い出されて、後悔の念と詫びる気持ちと母恋しさで胸の奥がツーンと痛くなって、なんとも言えず悲しい気持ちになるのです。

◆ゴンゾ◆



この町には「三浦」がうじゃうじゃいる。ちょっと歩いただけでも三浦工務店、三浦精米店、三浦衣料品店、など汚い看板が目についた。

お寺でも「三浦」では分からないかも知れないと思ひ、来る前に弟に屋号を聞いておいた。

「ゴンゾ」

これが役に立った、と言うか、結果的にはそれしか通じなかった。

お客さんが興味津々に「どこの家のお墓かね」「三浦です、この並びの・・・一男の・・・」「・・・???」「ゴンゾです」「ああー、ゴンゾのね!、勝さんの!」

◆墓参り◆



花を買い、お寺の古奥さんに「ゴンゾ」ですと挨拶し、桶を借りた。

ここは、松尾芭蕉が「奥の細道」で「象潟や雨に西施がねぶの花」と歌い、「松島」と並ぶ名勝と褒め称えた象潟の北端にあたる。松島が隆起し、その海がすべて緑の田んぼになった、と思えば良い。この寺の墓地はそういう「島」の頂上にある。

長い石段を登り、お寺の屋根より高く登った。

登った正面近くに三浦家ならぬゴンゾ一族のお墓がある。海を向き胸を張ってこの高台から母なる日本海をしっかり見据えている。背後は雪を頂いた鳥海山が静かに守っている。

五月のそよ風がほほをなで心地よい。静かだ・・・。漁港の浚渫作業から響いてくる機械の憎らしい音を除けば!だ。

お墓を良く見るとどう見ても数日以内に添えられた花がある。僕の花も添え、水をかけ、小さい頃から自分の子供として育ててくれた養父に改めて感謝した。

脇の石段に腰を下ろして心地よい風と静寂をしばし楽しんだ。これが目的ではるばるやって来た。

お寺へ戻り、もう当分来られませんからよろしくお願ひします、と多目のお布施を置いてお寺を後にした。養父の一番下の妹がよく友達に会いに帰郷し墓参りをしている、ということを知った。あの花がそうだったのかも知れない。

「ゴンゾ」の家はもうここにはない。

Advertisement for Mikado restaurant. Includes text: 'デリバリーご注文うけたまわります', '寿司・刺身、自家製スモークサーモン、定食類、麺類、丼物、種類豊富な一品料理を御用意致しております。', '個人〜団体様用パーティールームございます。', '日曜も営業!!', 'みかど オーナーシェフ 梶田佳一', '114 LAIRD DR. LEASIDE 1978年創業', 'TEL/FAX: 416-421-6016'. Also includes a map showing the location at the intersection of Millwood Rd and Laird Dr.



日本を心から愛しているにもかかわらず日本語を失ってしまった日系三世の父親と、何の不満もなかった日本での生活に終止符を打ち、カナダへ嫁いできた母親が、最も大切な我が子のためにこのカナダで伝えたいと考えたのは、何よりも日本の言葉、文化、習慣でした。

息をするかのように自然に日本を感じる事が出来る環境があれば…。そう願う親たちは私達だけではないはず、と。そんな親の想いを形にしたのが、現在の池端ナーサリースクールです。

早い物で、池端ナーサリースクールが現日系文化会館に移転してから10年、その前の、自宅を改造し始めたホームデイケアから数えると、なんと16年もの月日が経ちました。当ナーサリースクールには、現在、延べ120人(1日約80人近く)もの、一歳半から就学前5歳までの園児達が通園しています。

元々は、私自身に子供が生まれた際、就職活動を始めようにも日本語の環境の中、乳児を預ける事の出来る施設がなかった事、また、安心して乳児を保育出来る専門知識を持ったベビーシッターの確保が難しかった事などから、同じ様な環境の友人や親戚の乳児を私自身がお預かりした事が、この道への始まりでした。

ベビーシッターを始めた次の年1993年には、具体的なホームデイケアセンターの構想を確立し、一軒家を購入。チャイルドケア専門の設計士の助けを得て、地下室を保育施設に完全改造し、現ナーサリーの基盤になるホームデイケアセンターを開始しました。

1995年にはオンタリオ州認可ホームデイケアセンターとして登録。

それから5年間の間にデイケア施設を4軒に増設したにも拘らず、入所ご希望者は後を絶つ事がありませんでした。しかし、需要の高まりを認識しながらも、これ以上ホームデイケアセンターを増やして行く形を取るには困難な状態でした。

そんな中、日系文化会館がウィンフォードから移転の話聞き、これ以上最適な場所はないと確信し、州認可終日日本語保育園の開園計画書を会館に提出したのです。

『日系文化会館』それは、私達夫婦以上に様々な経験を積まれてきた日系社会の方々の、汗と涙の結晶の場であり、その一角を確保できた事にも大きな意義があると考えています。

そんな私達のナーサリーはとてもユニークです。トロントに来て間もない新移住者や駐在員家族など一時的な滞在者、国際結婚や家庭の事情などの理由でカナダに移住する家族、そして、日系2世

3世や非日系人など、両親が日本語を話さない人達…。これら様々に異なるバックグラウンドを持つ子供達が、ナーサリーと言う、一つ場所と一緒に仲良く日本文化や習慣、言葉を自然に学んでいるのです。

『日本語を話せない親の子供が日本語を話せるはずがない』と言うのは、もう一昔前の話と言えるでしょう。私どもナーサリーでは誰もが違和感を抱く事なく、自然に『日本』に溶け込んでもらえる環境を提供しているのです。

当ナーサリーはオンタリオ州の認可を受けたデイケアセンターですので、法律や規定はもちろん州のものに従っています。しかし非営利団体(Non-Profit organization)にならず、政府からの援助金を受けておりません。

それは何故かと申しますと、もしも私どもが政府と契約し、援助金を受けたなら、当然ですが“Give and Take”ですので、何か見返りを求められます。それは、市で長い間待っている(ウエィティングリスト)に載っている人達を受け入れると言う事。

つまり、デイケアスポットを待っている人が日本語や日本文化に全く興味がなくても、受け入れなければならないのです。すると、日本語クラスが日本語に興味のない園児で溢れる様になる可能性もある訳です。

そうなれば、私どもの目的とする保育とは異なってしまう可能性が出て来るのです。

ですから金銭的に辛い時期でも、取立て、非営利団体として登録せず政府の援助金を受けずに今まで、頑張ってきた訳なのです。

小さなホームデイケアセンターから、州認可の大きな保育園へと転換した訳ですから、初めは何もかもが戸惑い続きの日々でした。肉体的にも、精神的にも、金銭的にも辛い時期がたくさんありましたが、子供達の笑顔に支えられ、『明るい日系社会の未来』と言う、夢と希望を胸に過ごして来ました。

昔ながらに受け継がれてきた日本人特有の感謝の気持ち、他人を気遣う思いやり等は押し付けて貰うものではないですから、園児達にはそれらを生活の中から自然に身に付けて欲しいと切に願ひ、日々取り組んでおります。

言葉にしても同様です。年齢に応じて、会話だけではなく、日本語の読み書きもどんどん進めていき、あれでもかこれでもかと、園児が興味を持って「日本語を話したい、習いたい。」と思いたくなるように工夫している次第です。

新移住者協会の傘下にある、各土曜日学校との連携も一層強固となり、当ナーサリーを卒園した子供達の継続的な日本語教育が可能な現在、日系社会の未来はますます明るい一、と心から感じている次第です。

IKEBATA

NURSERY SCHOOL
TORONTO CANADA

オンタリオ州認可保育園

TEL: 416-510-1441

トロント日系文化会館内

www.ikebatanursery.com

日本語&英語プログラム

- ・18カ月～6歳前後(年齢別クラス)
- ・プログラム時間: 8:30am～4:00pm
- (時間外保育: 7:45am～6:00pm)
- ・日本とカナダの経験豊富な幼児教育資格保持者による指導
- ・少人数グループでの日本語・英語レッスン(時間あり)
- ・毎月の行事やお料理保育、遠足、発表会など豊富なプログラム内容
- ・給食、おやつ込み 兄弟・姉妹割引あり

ボランティアスタッフ募集

詳細は当ホームページをご覧ください

日本語教師合同研修 参加報告

杉本喜美子

バンクーバーに行って来ました。



JICA という日本政府が関わっているプログラムで、日本語研修というちょっと見は堅苦しいが、堅苦しくならないよう、面白くなって参加した。

3月6日の金曜日朝から行動開始。きょうのトロントは待ちに待った高気温（プラス15度）と予報されていたが、それを体験できないのが残念だったが、バンクーバーだって負けちゃいけないだろうと、わくわくしながら飛行機に乗った。アナウンスで現地はマイナス1度とあり、うっそと声に出してしまった。スプリングコートで来てしまった。でも、到着直前には、プラス1度と言われ、ほんの僅かの差だがなぜか嬉しかった。時差が3時間あるので、トロント朝10時半発でもバンクーバーには、お昼の12時ちょっとには着く。

研修日は明日の土曜日、バンクーバー散策をするなら今しかない。その前に腹ごしらえとホテルの2、3軒隣の「ギョウザ キング」というお店に入った。お腹が相当空いていたので何も考えず味噌ラーメンとさんまの塩焼きを一つがっつ。そのあとトリーテンポールのあるスタンレーパークへ向かう。なんと、もっと美味しそうなお店のするレストランが次々に現れるではないか。早まった～、弁当を貰えるんだし、お寿司のひとつも食べればよかったと思ったが、もう満腹。

スタンレーパークはすぐに着いた。池があり周りを散歩するには丁度いい大きさだ。トロントのハイパークによく似ている。公園をぶらぶらするような趣味は持ち合わせてはいないが、取り合えずトリーテンポールにまっしぐら。そこもすぐに現れた。まとまって7、8本立っていた。何度もテレビ等で見ていたので、それほど感激はしなかった。もっと森深くひっそりとするのかな～と期待していたが、お土産屋さんやトイレがあり日本人韓国人の若い子たちがキャーキャー写真の取り合いをしていて、それを眺めていたら「写真をとってくださいませんか？」と頼まれてしまった。なんだこりゃと思ったが、今日はざっと誰とも話してなかったし、「はいじゃあいきま～す1、2、3」と言ってる私だった。

いよいよ7日土曜日。

カルガリー日本語学校、モントリオール日本語センター、そしてトロント国語教室から来た私、それに国際協力機構事務所所長がホテルロビーで会った。皆さんの第一印象良し！校長、所長だがあたりまえだが普通のおじさんとおばさんだ。

さっそくブリティッシュ コロンビア大学へ向かう。そこで、日本語スピーチコンテストを聞いた。韓国人中国人ばかりだ。もっと日系二世三世とかがでてきてもよさそうだが、大変な思いをしたくないのだろうか。韓国人高校生の実体験である離散家族のことを切実に語られては勝ち目が薄いかもしれない。結果を知りたかったが、前半終了後退散。

昼食は、次に見学予定の日本語文化学院の階下にある韓国料理に行った。値段を気にせずともよいて何て素晴らしいんだろ！全員でフルコースを頂いた。このあとは、横になってのんびりしたいがそうもいってられない。

日本語文化学院は、3階にある。授業は午後からである。オフィスビルを借りているようで大きなガラス張りからの見晴らしは抜群。海山を見ていたらあっという間に時間など過ぎてしまう。これじゃ授業にならないんじゃないかとは思わなかったが、難しい漢字をやった後にふっと外をみればかなりの気分転換になるに違いない。学校はまだ6年目だが、幼児から高校生まで140人の生徒がいる。各部屋はとても狭いが、大きなホワイトボードがあり、生徒の作品やクラフトが所狭しとかざられ活気がよく伝わってくる。教科書は光村で1年で1冊という具合で、またその学院で開発したドリルなどを各生徒が使用しており、一冊持って帰りたかったが、無いということで断念。（記憶力も乏しいのでどこまで覚えられていることやら。）教師陣もベテラン揃いでもっと観察したい気分であった。それぞれのクラスを見学したが、一番印象に残ったのが、英語が全く聞こえなかったことである。私たちが大行列のごとく入って行けば緊張して だまることも考えられたが、どうもそうではないようだ。一人一人の子が自分から日本語を学ぼうとしている姿勢が感じとれる。真面目なのである。ここのところに一番感心させられた。

次は、バンクーバー日本語学校へと移動して、トロント大学教授の中島先生の講義を受けた。中島先生と国語教室は長い係わりがあり、私は何度もお話を聞かせてもらうことがあったが、改めて継承語教育を熱々と語る中島先生の話に吸い寄せられ、あっという間の1時間半だった。ゲストの私たち三人は恐れ多くもひな壇に座らされ、予想外のスピーチを要望され肝を冷やしたが、思いつくまにこの時とばかり自校の宣伝をさせてもらった。そんなこんなで気がつくつすでに夜9時が過ぎていた。

ホテルに戻り JICA の所長さんに美味しい牡蠣と刺身をご馳走になり、やっとバンクーバーの味に舌鼓を打つ事が出来幸せな気分を一日を締めくくりました。（ラーメンとさんままではトロントに帰って話しにならないし。）

このような機会に恵まれ各関係者の方々に深く感謝申し上げます。ありがとうございました。

新装開店

ドンバレーノースのトヨタ部門が新築移転して営業開始！

オールカナダ最大のショールーム(40台展示)、サービス工場(44ベイトドライブスルーサービス)、建坪104000sqft.
(本社機能及びレクサス部門は現社屋のままで年末より拡張工事開始予定。)

— Don Valley North —

LEXUS TOYOTA

Canada's #1 TOYOTA & LEXUS Dealer Since 1973

① DON VALLEY NORTH TOYOTA www.dvntoyota.com
3300 Steeles Ave. East, Markham (905)475-0722 友野

② DON VALLEY NORTH LEXUS www.dvnlexus.com
3120 Steeles Ave. East, Markham (905)479-8555 横山

③ MARKVILLE TOYOTA www.markvilletoyota.com
5362 Hwy #7, Markham (905)294-8100 田中

④ LEXUS OF RICHMOND HILL www.lexusrh.com
11552 Yonge Street, Richmond Hill (905)883-8812 坂本

⑤ TOYOTA COLLISION REPAIR CENTRE
391 John Street, Thornhill (905)886-0434 山口

横浜トヨベクトルグループ
海外拠点・創立35周年

新鮮さ味一番!!

オーシャンフードの練り製品をどうぞ!

◎かまぼこ ◎てんぷら ◎さつま揚げ ◎シューマイ
◎竹輪 ◎はんぺん ◎その他練り製品

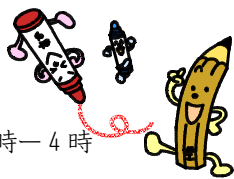
日本食品店でお求めください

Ocean Food CO. LTD. Since 1980
SEAFOOD MANUFACTURER
3 TURBINA AVE, TORONTO, ONT. M1V 5G3
www.oceanfood.ca TEL.(416) 285-6487 FAX.(416) 285-4012

【お知らせ】

カエデ文庫開館日

日時: 6月27日、7月25日、午後1時～4時
 場所: 日系文化会館2階
 問い合わせ: 加藤真利子 416-285-0353



【トロント歌声喫茶の会・春の集い 報告】 三浦信義

トロント歌声喫茶の会は5月9日(土)に春の集いを教会の集会場で楽しく行ないました。当日は午前中は豪雨、雷雨、強風と大変な嵐でした。午後にはおさまりましたが、冷たい北風が吹いて冷え込みました。

そんな天候にも関わらず、教会の集会場に「地元」はもとより、遠くはオタワやナイアガラから47人もの参加者が集まりました。若い参加者も目立ちました。

4月の上野の春の大うたごえ喫茶にトロント歌声喫茶の会を代表して参加した斎藤ハンクさんから楽しい報告と資料の回覧がありました。

4時間半に渡って春の集いで元気に歌った歌は、新宿歌声喫茶「ともしび」4月ベスト15から選んだ曲やリクエスト曲など計52曲。ちよとどんな歌を歌っているか書き出してみましようか。

愛の賛歌、世界にひとつだけの花、私の愛した街、鶴、かたくりの花、芭蕉布、初恋、百万本のバラ、アメイジンググレイス、手紙、誰も知らぬ私の悲しみ、ともしび、ブルーシャトー、いつかある日、風、空の神兵、バラが咲いた、悲しくてやりきれない、河は呼んでいる、グリーングリーン、赤とんぼ、沖縄を返せ、月光仮面は誰でしょう、君について行こう、青い山脈、500 miles、枯葉、知床旅情、恋は水色、しゃれこうべの歌、ピヤ樽ポルカ、スリコ、春の日の花と輝く、シュワジヴェジカ、がんばろ

う、カチューシャ、泉のほとり、トロイカ、我らの仲間、小さな日記、瀬戸の花嫁、なごり雪、花、てんとう虫のサンバ、上を向いて歩こう、翼を下さい、寒い朝、見上げてごらん夜の星を、涙くんさようなら、銀色の道、世界は二人のために、今日の日はさようなら。

なかなか懐かしい歌、楽しい歌、美しい歌、いろいろあるでしょう。タイトルを見ただけでは分からない歌でも皆と一緒に歌い出すと、ああ、この歌!と分かるものが沢山あります。

【カエデ文庫の活動について】

1978年に創設されたカエデ文庫は、新移住者協会のなかでも一番長く続いているプロジェクトです。2007年7月までは、日系文化会館内部の常設スペースで毎週土曜日1時から4時まで約2千冊の日本語書籍と300本前後のビデオの貸し出しを行ってきました。

日系文化会館の2階改築工事の為、常設のスペースが使えなくなり、活動中止を余儀なくされました。カエデ文庫ご利用の会員の皆様からカエデ文庫の再開についての要望が多く寄せられたので、2008年6月に再開しました。

現在は、常設のスペースが得られないため、部屋代を支払って日系文化会館の部屋を借りて、月一度の活動を行っています。場所の制約があるので、今までのようにカエデ文庫所有の本・ビデオの全てを提供することは来ませんが、新入荷の本とビデオを中心に貸し出しを行っています。

昨年一年間で、本は315冊、ビデオ101本を新入荷しました。新入荷の本は日本で評判になっている比較的新しいものも多数ありますから、それなりに充実した内容を会員の皆様から喜んでいただいています。

新移住者協会会員の方はカエデ文庫の年会費5ドルは免除になります。

一日も早く、以前のように常設のスペースで週一度の貸し出しが再開出来るようになることを、カエデ文庫ボランティア一全員願ってやみません。」

日系コミュニティピクニック

32回目の日系コミュニティピクニックが7月1日(水)カナダデーに日系文化会館カレドンプレイス農園で行われます。ビンゴや各種ゲーム、マス釣り堀などが用意されています。カレドンの大自然の中で家族そろって楽しく1日を過ごしましょう。



- ◇開門: 8時半。釣りは朝から。ゲームなどは午後。
 - ◇毎年新移住者協会は受付やゲームの補佐などを行っています。
 - ◇日系文化会館理事長マーティ・小林の後援により無料。
 - ◇先着250台の車にもれなくギフト。
 - ◇日系文化会館カレドンプレイス農園(招待状・地図は下記)
- <http://www.geocities.com/nobbycosmic2/JCCC/2009jccp.pdf>

トロント歌声喫茶 夏の集い 8月8日

トロント歌声喫茶の会は誰でも気軽に参加できる、歌声を通して心が通う楽しい会です。カラオケでも、合唱団でもありません。大声で皆でワーンと歌います。健康に最適!夏の集いは8月8日(土)、日系文化会館で行ないます。皆さん、来てみませんか?

連絡は三浦: nobbycosmic@yahoo.co.jp

トロント新移住者協会 新会員募集中



★新移住者協会会員になって活動を指示して下さい。年会費\$20 会員申込書は↓のサイトにあります。

<http://www.geocities.com/njcaontario/NJCAApplication.pdf>

トロント新移住者協会・日系文化会館 共催



夏の親睦大BBQパーティ! 8月30日

トロント新移住者協会は毎年恒例の盛大なBBQパーティを行います。焼肉、ゲーム、賞品、ブースや売店が沢山。

誰でも歓迎。

移住者社会、日系社会の皆さん、夏の一日を仲間と一緒に楽しみましょう。

【場所】 日系文化会館 6 Garamond Court, Toronto

【日時】 8月30日(日)
11時半～3時(食事12～2時。デザート2時～)

【参加費】 協会および会館会員
大人\$6 家族\$15 シニア・子供 \$4 幼児無料
非会員

大人\$8 家族\$18 シニア・子供 \$5 幼児無料

※家族=大人2人に子供3名まで、子供=6～12歳

※当日受付で会員になれます。年会費\$20(個人または家族)

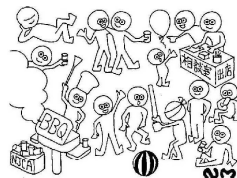
※ビール有料、その他の食べ物・飲物は無料(売店販売は除く)

※ドア・プライズの賞品の寄付をお願いします。当日持ってきて下さい。

【ブース/売店】 日本語学校、クラブ紹介、散髪、指圧、寿司、まんじゅう、日本食料品各種、かき氷、書店販売、日本玩具、クラフトなど、いろいろ

※ブース・売店申し込受付中。

※散髪の出来るボランティア募集中。



BBQ 参加申込不要。問い合わせは: 長石 905-475-7173
三浦 nobbycosmic@yahoo.co.jp

「にゆうすれたあ」112号の原稿締め切りは8月15日、9月初旬に発送する予定です。内容、字数は自由です。日常生活をさりげなく表現してみてください。原稿の送付先 doit4joy@hotmail.com 編集責任者 森貞一弘